

学 習 計 画

(学年 3年) (科目名 現代文B)

学 期	学習項目	学習内容・方法
1	『コミュニケーションとしきり』 『セメント樽の中の手紙』 『山月記』 『級別漢字学習』3級②～⑤	○引用や具体例を手がかりして哲学的な思考へと導く、典型的な評論の展開と構成を学ぶ。 ○私たちの存在が孤独であること、それゆえコミュニケーションの必要性が生じていることを論旨に沿って把握する。 ○コミュニケーションが持つ影響力について考える。 ○主人公の現実を理解させ、彼が女工の手紙を読む前と宇都の心情の変化を考える。 ○作品の主題を読み取らせ、自己と引き付けて考える。 ○文章表現の方法、語りの構造が主題とどのように結びついているか、どのような効果をもたらしているか理解する。 ○簡潔で力強い文章に親しみ、その文章の美しさや魅力を理解する。 ○作品の構成を捉える。 ○李徴の性格や心理はどのように描かれているかを読み取る。 ○主題を読み取り、人間存在や自意識の問題について考える。 ○小説の面白さと、文章や虚構の関係について考える。 ○文章・文体の特徴を指摘し、まとめる。 ○作者と作品の成立した時代について学ぶ。 ○登場人物の微妙な心の移り変わりを読み味わう。 ○小説における擬声語などの表現技法について理解を深める。 漢字の読み・書きの他、部首や熟語の構成、誤字訂正など漢字検定に対応する漢字力を身につける。
2	『土神と狐』 『高瀬舟』 『級別漢字学習』3級⑥～準2級⑦	○恋愛を描いた小説を興味を持って読ませる。 ○心理表現に着目しながら小説を読み取らせる。 ○色彩表現や比喻表現のもつ効果について理解を深めさせる。 ○小十郎と熊の関係について理解する ○小十郎を訪れ、その後約束通りに死んでいた熊に対する小十郎の心情を理解する。 ○小十郎の最期の言葉は、どのような気持ちの中で発せられたのかを考える。 ○宮沢賢治の宇宙観について ○作品の論理的な構成や展開を意識させつつ、登場人物の性格や心理的变化の過程などを綿密に読み取らせることで、正確な読解力を身につけさせる。 ○優れた表現による作品を読み味わわせつつ、語句を調べたり、表現的特徴を分析させることで、豊かな語彙力や幅広い表現力を養わせる。 ○『高瀬舟』の自作解説である『高瀬舟縁起』や、原典となった『流人の話』などを読み比べるなどし、さまざまな視点から作品の主題について考えさせる。 漢字の読み・書きの他、部首や熟語の構成、誤字訂正など漢字検定に対応する漢字力を身につける。

3	『鞆』 『級別漢字学習』2級①～2級②	<ul style="list-style-type: none"> ○小説のもつ虚構性とそれゆえの批判性を理解させる。 ○「鞆」とは何かについて考え、作品の投げかけているテーマを読み取らせる。 ○作品の寓意と「自由」について考えをまとめさせる。 漢字の読み・書きの他、部首や熟語の構成、誤字訂正など漢字検定に対応する漢字力を身につける。